

特集

「特定行為に係る看護師」 研修制度の活用に向けて

2010 年からの厚生労働省「チーム医療推進会議」およびワーキンググループでの議論を経て、2013 年 3 月にまとめられた「特定行為に係る看護師の研修制度（案）」の制度化に向けて、2014 年春の通常国会での関連法改正が予定されている。本制度の内容や今後の予定についての Q&A とともに、試行事業を経験した看護師からの報告をお届けする。

【Q&A】特定行為に係る看護師の研修制度について ● 島田陽子
現場でどう活用していくか、そのために何が必要か ● 高橋久美子

【試行事業対象看護師の活動の実態と課題】

筑波メディカルセンター病院 ● 木澤晃代

国立長寿医療研究センター ● 平野優

東京医科大学病院 ● 冷水育

議論を経て実現した制度化への期待 ● 有賀徹

巻頭

うちの師長会・主任会⑦ 横浜市立みなと赤十字病院

特別記事

認定看護師の活動を可視化するための評価指標作成の取り組み
急性期病院における高齢者ケアの質向上を目指して② ● 古田愛子ほか
心理・社会的側面からがん患者ケアを補完するマギーズセンター
医学知識を持った友人のような相談支援 ● 村上紀美子

TOPICS

「ケアする者/ケアされる者」の二分法を超えて
当事者が語る「認知症の語り」ウェブページ ● 佐久間りか

編集後記

▶ 欧米では 10 年以上前から発足し、日本でも少なくとも 5 年以上前からその重要性が指摘されてきた院内急変対応システム（RRS）。加速する超高齢化社会を背景に今年の診療報酬改定ではさらなる医療機能の分担が明確化されましたが、超急性期、急性期を目指す病院にとっては常に高齢者、重症度の高い患者、高度な手術を行う患者が、速いサイクルで入院退院を繰り返す、“総ハイリスク患者時代”を迎えたと言えます。そうした時期に満を持して RRS 特集をお届けすることができました。藤谷茂樹先生はじめ執筆に携わってくださった皆さんは「劇団」を組み、導入を検討される施設にシミュレーションによる出前研修を実施しています。患者・スタッフの安全を守る RRS の立ち上げをぜひご検討ください。（小齋）

▶ 「エターナル・サンシャイン」などで知られるミシェル・ゴンドリー監督が、言語学者ノーム・チョムスキー氏にインタビューを行ったドキュメンタリー映画「背の高い男は幸せ？」（2013 年・米）。教育について問われたチョムスキー氏は「『なぜ？』と問わない人間の思考は他人のもののレプリカにすぎない」と語ります。▶ 熊谷雅美さんのインタビュー（特集 1）でも、新人研修の中では「なぜ私は今この行為をしているのか」を伝えていくことが大事」という発言がありました。▶ 「なぜ？」を伝える者、「なぜ？」を問う者、双方の存在で獲得される知が積み重なって初めて、現場で自ら考え、行動できる人間が誕生するのかもしれない。私も「なぜ？」を忘れずにいきたいと思ひます。（笹山）

看護管理 第 24 巻第 6 号

2014 年 6 月 10 日発行（毎月 1 回 10 日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2014, Printed in Japan

定価 本体 1500 円 + 税

2014 年年間購読料

冊子版 18170 円

冊子+電子版/個人 21170 円

冊子+電子版/共有 23900 円

電子版/個人 18170 円

電子版/共有 20900 円

（いずれも税込、送料弊社負担）

『看護管理』編集室（担当：小齋、笹山、伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

〔年間購読のお申し込み先〕

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、(株)医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複製、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物複製される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構の許諾を得てください（TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp）。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記載された【0917-1355/14/¥500/論文/JCOPY】は、1 論文 1 回複製につき 500 円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPY へのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。

facebook 始めました!

アカウントをお持ちの方は「看護管理」で検索していただき、「いいね!」をよろしく願いいたします。

http://www.facebook.com/kangokanri1991

●twitter アカウントは、@kangokanri です。あわせてフォローをお願いいたします。